膿皮症（□蜂窩織炎　□丹毒）の治療を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID：　　氏名　　様

	入院当日	入院2日目～7日目	入院８日目～10日目	退院日
	月　　日	月　　日～　　月　　日	月　　日	月　　日
目標	治療の必要性が理解でき 治療にのぞむことができる	症状憎悪なく経過し治療することができる	症状憎悪なく経過することができる	症状改善され退院できる 退院時指導の内容が分かる
説明 指導	入院生活について説明します。 医師から治療について説明があります。 薬剤師より膿皮症の薬剤について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の 対処方法について説明があります。	吐き気、発疹などの症状が出た際は、 すぐにお知らせください。 点滴中、針の入っているところが痛くなったり、 腫れたり、重苦しい感じがある場合は、 ナースコールを押してお知らせください。 腫脹・熱感・疼痛があるとき、 または症状増強時は、看護師に教えてください。	吐き気、発疹などの症状が出た際は、 すぐにお知らせください。 腫脹・熱感・疼痛があるとき、 または症状増強時は、看護師に教えてください。	退院後の生活の 注意点について指導します。
治療 処置 点滴	点滴の針を入れ、抗生剤の点滴を2回、 7日間行います。 点滴終了後は点滴の針を留めておきます。	抗生剤の点滴を午前・午後の2回行います。 7日目の抗生剤の点滴終了後、 点滴の針を抜きます。		
検査	入院後血液検査、胸部レントゲン、 心電図検査を行います。	5日目と7日目に血液検査を行います。		特にありません。
内服	現在飲んでいる内服薬があれば 一旦お預かりし確認をします。 内服してよいお薬のみお渡しします。	指示通り内服してください。		必要時にお渡しします。
食事	基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じて、治療食をお出しすることもあります。基礎疾患がない場合は、特に制限はありません。			
生活 行動	特に行動制限はありませんが、下肢の蜂窩織炎の方は医師の指示に従ってください。下肢の状態が改善され歩行可能になりましたら、行動制限はありません。			
清潔	シャワー浴ができない間は、体を拭きます。 シャワー浴の許可がでたら、点滴治療中以外は、シャワー浴ができます。シャワー浴時には、点滴部分を濡れないように保護します（シャワー浴時は看護師に声をかけてください）。			
その他	わからない点・疑問などあるときは遠慮なく、看護師にお聞きください。			退院手続きが終わるまで 病室でお待ちください。 退院後に異常がありましたら 指定された皮膚科外来にご連絡ください。

注１）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
皮膚科